

Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA



President : Yasuo Ueno Address: 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan
Mail : uenoashiya@kbd.biglobe.ne.jp
URL : http://www.kobeymca.org/kobe_yymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 A・シヤナヴァスカーン (インド)
"Together for a Better World 「より良い世界のために、共に」"
アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウオン(香港)
"Make a Great Impact" 「大きなインパクトを起こそう」
西日本区理事 鶴丹谷 剛 (神戸クラブ)
"Connecting Local to the World with YMCA"
「つなげよう地域と世界、YMCAと共に」
六甲部部长 小野勅紘 (西宮クラブ)
「一人は万人のために、万人は一人のために」
芦屋クラブ会長 柏原佳子
「豊かなクラブライフを！」

今月の聖句

「だから、彼らにはたとえを用いて話すのだ。見ても見ず、聞いても聞かず、理解できないからである。
マタイ福音書13章13節

12月クリスマス祝会

と き: 2024年12月23日(月) 18:00~21:00

と ころ: ホテル竹園芦屋 飛鳥の間

総合司会: 柏原佳子会長・福原吉孝ワイズ

《 詳しくはクリスマス祝会プログラム参照ください》

- ◇開会挨拶・点鐘 柏原佳子会長
- ワイズソング 一同
- ゲスト・ビジター紹介 柏原佳子会長
- ◇礼拝の部 司会: 島田 恒ワイズ
- 祈禱・奨励 権 甲植ワイズ
- ◇祝宴の部
- 祝辞 井上慎二 YMCA 総主事
- 食膳感謝
- 乾杯挨拶 小野勅紘 六甲部部长
- エンタテイメント チンドン通信社「東西屋」
- オークション
- アピールタイム 各アピール
- 誕生日祝い
- ◇フィナーレ
- YMCA への献金贈呈
- 閉会挨拶・点鐘 柏原佳子会長

会 長	柏原佳子
直前会長	上野恭男
副 会 長	田辺征一・福原吉孝
書 記	上野恭男
会 計	桑野友子
監 事	島田 恒
担当主事	横山徹太郎
六甲部 EMC 主査	島田 恒

12

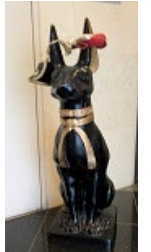
Dec., 2024
330号

サンタさん 遅れないで！

会長 柏原佳子



12月、ドアを開ければ、クリスマスデコレーションが華やかに迎えてくれます。メールを開ければ各クラブのクリスマス例会案内が届いています。遅れた秋の訪れで、半分枯れた紅葉が風に舞って道路の端に集まっています。今年は、銀杏が夕日に黄金の輝きを放って美しく燃えています。



クリスマス一色のあの雰囲気はまだ感じられない、ギャップと焦燥を覚えますが、カレンダーに合わせず、あるがままの遅い秋をゆったりと楽しむことに致しました。

12月に入って、嬉しいニュースが相次ぎました。懐かしいお声で元メンバーファミリーからクリスマス祝会ご参加の申し出であり、又、突然覆われた病から快復されクリスマスには参加ができますというメール有り、元気いっぱいメンバーが、マイコプラズマから全快され、身近では、MRIまで撮る不安と心配が解消され、改めて健康の大切さを感謝いたしました。特に嬉しいニュースは、クラブのメンバーが、クリスマスに受洗されると同じ、さっそく「おめでとうございます」の電話を入れました。一瞬私の所属する教会にいらしてほしかったと思いましたが、直ぐに祝福の言葉が出たことで、私自身、クリスチャンに近づいていた事に気がありました。クリスマスが近づいてきます。 Merry Christmas !

11月例会集計

第1例会出席メンバー	14名	例会出席率	出席者 14名	BF切手	
メネット	名	メイクアップ	名	累計	gm
コメント		合計	名	ニコニコ	
ビジター	名	在籍者	18名		
ゲスト	3名	(内広義会員1名)			15,637 円
合計	17名	出席率	82.4%	累計	48,538 円

11月第1例会報告

日時：2024年10月16日(水) 18:00~21:00

場所：ホテル竹園芦屋 飛鳥の間 (敬称略)

参加者：柏原会長、大岩、上野、桑野、権、島田、堤、
中山、羽太、濱瀬、坂東、福原、船橋(各ワイズ)
横山担当主事

ゲスト：館村信男氏(ゲストスピーカー)

大西謙氏、渡辺徹也氏(島田ワイズ友人)

今月のスピーカーは三菱重工OBの館村信男氏です。

電気主任技師としてインドに3年ほど滞在したことがあり、その経験されたお話をお聞きました。



インドは大きな国で、標準語はヒンディー語と英語、50ほどの方言での会話で成り立っていると話されます。

館村さんはインドで電気技師として工事に従事されましたが、コミュニケーションはどうしたのか、それは何とかなるものですよ、と同僚のやり方を話されました。その方はおおきな声で、それも日本語でしゃべるのだそうです。大方指令するような一方的な言葉ではないかと思いますが、3日ほどですべての指示が行き届き円滑に仕事が出来たとのことでした。もちろん仕事が終われば、共に連れ立って食事会を欠かせなかったそうです。

インドには、出張3度、延べ2年2カ月の滞在をし、国営造船所建設技術指導をされました。以下、館村さんが語ります。インドは日本の常識が通じない驚きの毎日でした。ターバンはごく一部の人しか巻きません。空港の運び屋達は自分の権益を守るために懸命。何より人の多さにびっくりしました。独立記念日に居合わせましたが、延々と続くパレードでカメラのフィルムが無くなってしまいました。

広大な国営造船所建設の業務でしたが、敷地(400mx2000m=80万㎡)の広さにこれまた驚きました。造船所建設では50mx300mx15mの穴(ドック)2基を掘るのですが、女性労働者のベルトコンベアで掘った土を運び、作業するのです。ブルドーザーより人力、失業救済を兼ねた事業だったのかもしれませんが。その後の造船所の現状ですが、現在空母2隻建造中とのことでした。

私のインドでのコミュニケーションの取り方の基本は、話し方については、まず褒めることでした。初めて会った人を褒めるのは難しいことですが、共通点を探すなどして、徹底的にお世辞を伝えまくるのです。

それも心から相手を「好き」と思いながら褒めるのです。心から褒めなければ、相手はそれに気づいてしまいます。本当に「好き」と思っていれば、それは相手に伝わるのです。

そして洗脳的なテクニクとしては、断定するのではなく「ほめかす」ことが効果的でした。相手を説得するのではなく、相手



が自ら考えて決断したかのように導きました。「ほめかす」だけですので、「今のままで大丈夫ですか」などと将来の不安をほめかせば、相手は勝手に不安になって動き出すのです。それは強制したのではなく、相手が決断したことになるからです。以上のこと、インドだけでなく、対人関係に大事なコミュニケーションなど巧みに、軽妙にお話しされた館村さんに感謝です。

上野恭男

六甲部部会

11月2日(土) ホテルヒュイット甲子園

当日は大雨で新幹線も大幅に遅れ、九州から参加された方はとても大変な様でした。芦屋クラブからは9名参加予定でしたが、1名が病気1名は大雨で欠席、柏原会長・上野・桑野・島田・濱瀬・福原・船橋の7名が参加しました。

「EMC シンポジウム」報告

11月2日ヒュイット甲子園ホテルで六甲部部会が開催され、その第一プログラムとして「EMC シンポジウム」が計画された。メインの玉岡かおり講演が2時からであったが、1時に設定されたこの集いにも多数の参加をいただいた。

冒頭清水真一西日本区 EMC 主任がスライドを交えて講演された。西日本区の現状、EMC の重要性、そして EMC が成果を上げる方策やヒントについて内容ある説明がなされた。特に、自身の茨木クラブでの経験から、周りの人にクラブ参加を紹介することから始め、入会に至るまでの配慮やプロセスが紹介された。



六甲部 EMC 主査を務める島田が全体の司会に当り、清水主任に対する質問や意見を先ず取り上げ数名の方々の発言を得て、若干の応酬をいただいた。続いて、六甲部の EMC をどう推進するかについての討議に移った。あらかじめ各クラブ担当者に参加のお願いメールを流していたのだが、3名の参加しか得られず残念な思いであった。清水主任からは、六甲部として13名の新規入会が期待されたが、現時点では成果なく、後半に期待することになる。主査としては、来春「講演+エンタメ」の集いを開催、各クラブから入会候補をその集いに招いていただき入会を実現する方策を紹介した。芦屋クラブでの成果に基づく提案であった。提案を磨き、各クラブ担当に賛同協力をいただくことでシンポジウムを締めくくった。

島田 恒

六甲部部会報告

先ず、島田 EMC 事業主査の司会で、六甲部会、全員参加でのシンポジウムが開始した。フロアーからは、メンバーの拡大の為の意見、提案があった。まず、YMCAリーダークラスOB名簿をYMCAに協力して頂き、実態を調査し把握したい。



リーダー会OBは、ワイズ活動に、理解と関心があるはずである。リーダー会OBに定期的にワイズメン資料、参加申し込み表等をDM、郵送にて配布して、参加を呼び掛けては、どうだろうか？或いは、リーダー会OB会として、勉強会、懇親会の開催を行い六甲部ワイズメンへの入会を呼びかける。その他にも一般の方も参加しやすい講演会、勉強会を開催してワイズ第一例会の参加を呼び掛ける。うまく活動しているメンバーが多い京都部成功事例の紹介があった。経営者や若い現役で頑張る方々への情報交換の場として参加を呼び掛けることで入会する方が多いとのことである。

また、第一線を退き、定年退職された方々は、色々と社会での関わりを持ちたい思いが強くある。更にボランティア活動に関心のある女性は特に重要で呼び掛けに応じてくれると思う。司会の島田主査からは、人間生活の中でボランティア活動が如何に大事か・・を説き、六甲部として講演会などの開催、第一例会への参加を呼びかけ等の具体的な企画提案があった。六甲部としてもEMC拡大に向け全員参加で、何とか成功事例となるように頑張りたいものだ。ワイズメン組織は、YMCAを支え、ボランティア活動も積極的で頑張っている。ただ、一般社会での認知度が低いと思えてならない。新聞広告、YOUチューブ、SNS等、色々なツールを活用してYMCA活動を世の中にもっともっと知らせて欲しいと思う。

第一部 式典 パナーセレモニー(各クラブ会長)

濱ワイズ(西宮)の司会のもと、パナーセレモニーでは、各クラブ会長がパナーを携え舞台上に勢ぞろいした。次いで、小野部



長の開会点鐘、聖句朗読・開会祈禱を柳ワイズ(神戸西)があり、ワイズソング斉唱、井上総主事、鶴丹谷西日本区理事等の挨拶があった。

第二部 講演【玉岡かおる様】作家・大阪芸術大学教授演題は、「賀川豊彦と歩んだ賀川ハルの愛と奉仕の人生」をテーマで語って頂いたが、住民への奉仕、病気の介護をはじめ、教会活動等、その活動は、驚きというより、凄い・・・としか言いようもないほどであった。自己犠牲も厭わずここまで人々に奉仕が出来るのかと・・・感動させる夫婦の物語でもあった。当時の生々しい写真や資料がスライドで表示され分かり易く語られていた。



賀川豊彦と賀川ハル・・・の活動にフロアーのほとんどの参加者が、素晴らしい感動があるのだろう！！物語に熱心に聞き入っていたのが、印象的であった。

次いで、懇親会では大野ワイズ(神戸ポート)のギター演奏とともにリードで全員合唱を楽しみアピールタイム、ピュッフエ形式の食事、集合写真をとり、終了した。

今日の【玉岡かおる様】の講演は、大変良かった。演者に感謝して報告を終える。
福原吉孝

第26回 神戸 YMCA インターナショナルチャリティーラン

11月4日青く澄んだ秋晴れの下、しあわせの村運動場で第26回神戸 YMCA インターナショナルチャリティーランが開催されました。



神戸 YMCA は、1998年から3つの目標を掲げてチャリティーランを開催しています。私は、最初から関わってききましたが、コ

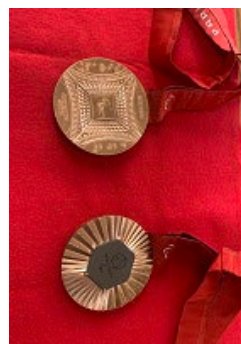
ロナ禍の中断があり、久しぶりの参加となりました。穏やかな秋晴れ、鮮やかに紅葉したグラウンドの樹々に囲まれ、幼稚園児からシニアの方達まで幅広い年代のランナー(300名近く)が、集まりました。

様々の競技の中でも、1.2kmのウォーキングにおいては、YMCA 幼稚園からの大勢の参加があり各チームは趣向を凝らした仮装で、会場をにぎやかに楽しませてくれました。

各ワイズの実行委員の方たちとコシュチューム大賞を選びましたが、どのチームも選ぶのが難しいくらい楽しい仮装でしたが、ハローウィンチーム、ひよこチーム、ウルトラマンファミリー、クリスマスチーム等が選ばれました。

なかでも、宝塚ワイズの皆さまのクリスマスチームは、仮装に出店にと、楽しんでおられました。

そして、今回の注目は何といっても今年のパリ、パラリンピックの水泳競技での銅メダル選手、富田宇宙選手の参加です。1.2キロウォーキングに、伴走の方と参加されて、そのウォーキングの速さにはびっくりしました。ダントツ1位で、さすがのアスリートでした。



又、富田選手のブースがあり、そこでは参加者との写真撮影、とりわけオリンピック銅メダルが展示されていて、私も初めてオリンピックメダルを手にしたが、その重さにおどろきと感動、パリオリンピックがよみがえりました。チャリティーランでの人とのつながりが、無限に広がり受け継がれていく事に改めて、大切さを感じました。

参加されたランナーの皆様、実行委員長の田代正彦様、担当の間勝也様、実行委員の皆様お疲れ様でした。

すがすがしい、こころ温まる楽しい秋の1日でした。

瀨 眞知子

『 聖句 読み説き 』

これは一見矛盾した奇妙な説明のように見えるが、私達には「分かりたいと思う事しか分かってほしい」と言う傾向がある。自分の分かる範囲まで割引して「わかったつもり」になっていることが私達の中で往々にして起こっているのではないだろうか。 権 甲植

2024年11月第2例会議事録

と き: 11月27日(水) 18:30~20:00

と ころ: 芦屋市民センター205号室

参加者: 柏原会長、上野、大岩、島田、濱瀬、福原(各
ワイズ)、横山担当主事

議事・報告

◇クリスマス祝会準備

- ・12月18日(水)クリスマス例会準備
(場所: H竹園 2F 17時~19時)
オークション: 恒例に従って持ち寄り値段を決める
当日の役割、担当を決定

◇第1例会

- ・12月23日(月)クリスマス祝会
H・竹園飛鳥の間 会費10,000円
- ・1月22日(水)スターティング・オーバー
- ・2月 留学生交流会: 2月5日or12日

◇今後の予定

- ・他クラブ訪問(クリスマス)は自由とする
神戸クラブ、宝塚クラブなど

◇10月会計報告は、桑野会計が欠席で上野書記が代読し、特に異論なく承認

◇その他

ジャガイモファンドで大きな協力を頂いた、三島元担当主事をクリスマス会に招待する

◇YMCA 報告 留学生の冬支度支援に感謝
横山担当主事

文責 上野恭男(書記)

◇各クラブのクリスマス会 (12月例会案内より)

- 神戸クラブ 12月14日(土)
- 西宮クラブ 12月20日(金)
- 神戸ポートクラブ 12月13日(金)
- 宝塚クラブ 12月14日(土)
- 神戸学園都市クラブ 12月19日(木)

エンターティナー チンドン通信社 東西屋



大阪を拠点とするちんどん屋さんです。

長い歴史を持つ多彩な芸で盛り上げていただきます。

ちんどん太鼓とバンジョー、クラリネットの演奏でクリスマス盛り上げていただきます。

街角では見る機会があってもじっくりステージでご覧いただけることは珍しいです。商店街クリスマス大売り出し室内でどんなパフォーマンスを見せてくれるのでしょうか？

捧腹絶倒間違いなし！ お楽しみください！

YMCA ニュース

第26回 神戸 YMCA チャリティーラン 2024

11月4日(祝・月)、チャリティーラン 2024 が開催されました。今回は、全国 YMCA チャリティーラン大会委員長の富田宇宙さんも来てくださり、大会を盛り上げてくれました。以下が当日の参加者数になります。

- ・1/10 マラソン 19名
- ・1.2kmウォーキング 個人:13名・グループ:39組 184名
- ・1/100 マラソン:145名

計:361名(複数種目参加の方もいますので延べ数です)



職員・リーダー・ボランティア・ワイズ・応援の方を合わせると約500名ほどの方々が今回のチャリティーランに関わってくださいま

した。準備から多くの方に関わっていただき、また当日は臨機応変に動いてくださり、ありがとうございました。

そして、今年も協賛いただいたみなさま、ありがとうございます。YMCA インターナショナル・チャリティーランは、集まった支援金で「日本中の障がいのある子どもたちがYMCAの夏のキャンプに参加できるように！」との願いから、1987年に東京で始められました。神戸 YMCA チャリティーランの目的は、

- ①YMCAが主催・共催する障がい児・者プログラムを支援し、「共に生きる」社会をめざします。
- ②神戸 YMCA に関わる多くのボランティアやメンバーが協働し、交流を通して「心のふれあい」を促進します。
- ③広く市民に参加を呼びかけ、ボランティアによる運営を大切に、「ボランティアの心」を育てます。

ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

神戸 YMCA 学院専門学校ホテル学科 60周年式典

11/6(水)、神戸 YMCA 学院専門学校ホテル学科の、創立60周年記念式典が執り行われました。

東京オリンピックが開催され、数年後には大阪万博を控えた1964年、神戸 YMCA 学院専門学校ホテル学科は、日本ホテル協会からの要請を受け、ホスピタリティの精神を育むという理念のもとに創設されました。

この度、60年をお祝いしての記念式典と祝賀会を行い、祝辞を ANA クラウンプラザホテル神戸の現総支配人に、乾杯はホテルラ・スイート神戸ハーバーランドの檜山総支配人にいただきました。在校生との交流等で盛会に終えることができました。 担当主事 横山徹太郎

編集後記: ◇紅葉とクリスマスが同時に来てしまいました。秋服でお洒落をする間もなく、ダウンコートの出番です。◇クリスマス祝会の準備も進んでいます。エンターティナー、芦屋クラブらしく無いか？でもとても楽しそうです。◇今年の流行語大賞、皆様お分かりですか？ノミネートされた20語の内2/3は分からない、大賞に輝いた「ふてほど」はもっと分かりません。「昭和は遠くなりけり」ですね！ 桑野友子